

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校
設置者名	学校法人静岡理工科大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
専門課程	国際エアライン科 エアラインコース	夜・通信	1,410	160	
	国際エアライン科 グランドスタッフコース	夜・通信	1,260	160	
専門課程	国際コミュニケーション科 ランゲージコース	夜・通信	1,320	160	
	国際コミュニケーション科 コンシェルジュコース	夜・通信	1,320	160	
専門課程	観光・ホテルブライダル科 観光ビジネスコース	夜・通信	1,350	160	
	観光・ホテルブライダル科 ホテル・ブライダルコース	夜・通信	1,560	160	
専門課程	国際交流科	夜・通信	2,280	240	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://s-air.ac.jp/entrance/basic.html

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校
設置者名	学校法人静岡理工科大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学校法人静岡理工科大学のホームページ（ http://www.sist-net.ac.jp/joho.html ）にて「役員名簿」を公開
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	物流等関連企業 代表取締役会長	令和元年10月1日～ 令和3年9月30日	学校法人運営についての意見 財務担当
非常勤	食品等関連企業 代表取締役会長	令和元年10月1日～ 令和3年9月30日	学校法人運営についての意見
非常勤	自動車部品等関連企業 代表取締役会長	令和元年10月1日～ 令和3年9月30日	学校法人運営についての意見
非常勤	物流等関連企業 相談役	令和元年10月1日～ 令和3年9月30日	学校法人運営についての意見
非常勤	学校法人 常任理事	令和元年10月1日～ 令和3年9月30日	学校法人運営についての意見
非常勤	銀行業 取締役専務執行役員	令和元年10月1日～ 令和3年9月30日	学校法人運営についての意見
非常勤	冷蔵倉庫業 取締役社長	令和元年10月1日～ 令和3年9月30日	学校法人運営についての意見
非常勤	システム関連企業 代表取締役社長	令和元年10月1日～ 令和3年9月30日	学校法人運営についての意見 情報 IR 担当
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校（全学科）
設置者名	学校法人静岡理科大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業計画（シラバス）の作成過程および公表について</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 1月～ 次年度授業計画策定 2月～ 教員への授業計画（シラバス）作成依頼 <ul style="list-style-type: none"> ・授業計画（シラバス）テンプレート配布 ・授業計画（シラバス）ガイドライン配布 3月～ 授業計画（シラバス）回収とチェック 6月～ 授業計画（シラバス）公表 	
授業計画書の公表方法	https://s-air.ac.jp/entrance/basic.html
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>授業ごとの出欠管理を徹底し、授業科目内での小テストや確認テストを行うことにより学生の理解度をチェックする。さらに前期末または後期末あるいはその両方において期末試験を実施し評価する。</p>	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

成績は、科目ごと4段階評語(優・良・可・不可)、素点(0~100点)による評価で表示。不可及び59点以下は不合格となり単位を修得できない。また、成績評価をポイントに変換し、その総和の平均を成績評価指標とする。成績証明書は、4段階評価の評語で表示される。

評語	素点	意味	ポイント
優	80~100点	到達目標をほぼ達成している。	4
良	70~79点	不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。	2
可	60~69点	到達目標の最低限は満たしている。	1
不可	0~59点	到達目標を充足していない。	0

成績評価指数 = ((4×優の科目数)+(2×良の科目数)+(1×可の科目数))÷科目数

客観的な指標の
算出方法の公表方法

<https://s-air.ac.jp/entrance/basic.html>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

本校を卒業する人材は、英語を中心とした外国語教育とマナー教育をベースに、航空・観光・国際ビジネス業界などにおける様々な接客サービスに関する専門知識や技能とプロ意識を持った人材育成が教育目標であり、学科コースごとの専門教育を学習し、以下の能力等を有している。

- 専門職種に直結した知識・技能の習得と資格取得
- グローバル化社会に対応した、聞いて理解でき、話せる実践語学力
- 全ての仕事に通じるホスピタリティマインド(おもてなしの心)

本校のディプロマポリシーに基づき、各学科のディプロマポリシーを設定する。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

<https://s-air.ac.jp/entrance/basic.html>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校
設置者名	学校法人静岡理工科大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://sist-net.ac.jp/kessan.html
収支計算書又は損益計算書	http://sist-net.ac.jp/kessan.html
財産目録	http://sist-net.ac.jp/kessan.html
事業報告書	http://sist-net.ac.jp/kessan.html
監事による監査報告（書）	http://sist-net.ac.jp/kessan.html

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		専門課程	国際エアライン科 エアラインコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,860 単位時間	750 単位時間	300 単位時間	330 単位時間	480 単位時間	
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人／科		42人	0人	13人	31人	44人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） ・前年度末までにシラバスの作成を行うと共に年間授業予定表の作成も行う。 ※様式第2号の3の1を参照のこと
成績評価の基準・方法
（概要） ・シラバスに定める「成績評価の方法と基準」に基づき評価する。 ※様式第2号の3の3を参照のこと
卒業・進級の認定基準
（概要） ・必修科目、必修選択科目の成績評価において不可の評価の科目がないこと ・総欠課時限数が年間消化時限数の15%以内であること ・学納金の未納がないこと ※様式第2号の3の4を参照のこと

学修支援等 (概要) ・検定試験を学内で実施し、学修成果を確認することができる ・個別指導の実施

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
21人 (100%)	1人 (5%)	21人 (95%)	0人 (%)
(主な就職、業界等) 航空業界			
(就職指導内容) 個別面談の実施、業界セミナーの開催			
(主な学修成果（資格・検定等）) 秘書検定、TOEIC600点以上、日本赤十字社救急法救急員、手話検定5級			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
41人	2人	4.9%
(中途退学の主な理由) 進路変更、経済的理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制による状況把握、保護者との連携		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養	専門課程	国際エアライン科 グランドスタッフコース	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
2年	昼	1,860 単位時間	講義	演習	実習	実験	実技
			810 単位時間	300 単位時間	360 単位時間	単位時間	390 単位時間
		単位時間／単位					
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
60人／科	54人	0人	13人	31人	44人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） ・前年度末までにシラバスの作成を行うと共に年間授業予定表の作成も行う。 ※様式第2号の3の1を参照のこと
成績評価の基準・方法
（概要） ・シラバスに定める「成績評価の方法と基準」に基づき評価する。 ※様式第2号の3の3を参照のこと
卒業・進級の認定基準
（概要） ・必修科目、必修選択科目の成績評価において不可の評価の科目がないこと ・総欠課時限数が年間消化時限数の15%以内であること ・学納金の未納がないこと ※様式第2号の3の4を参照のこと
学修支援等
（概要） ・検定試験を学内で実施し、学修成果を確認することができる ・個別指導の実施

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
23人 (100%)	1人 (4.3%)	22人 (95.7%)	0人 (%)
（主な就職、業界等） 航空業界			
（就職指導内容） 個別面談の実施、業界セミナーの開催			
（主な学修成果（資格・検定等）） 国際航空貨物取扱士、日本赤十字社救急法救急員、TOEIC550点以上、手話検定5級			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
53人	0人	0.0%
（中途退学の主な理由） なし		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任制による状況把握、保護者との連携		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		専門課程	国際コミュニケーション科 ランゲージコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,860 単位時間	780 単位時間	270 単位時間	210 単位時間	600 単位時間	
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人／科		46人	1人	13人	30人	43人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） ・前年度末までにシラバスの作成を行うと共に年間授業予定表の作成も行う。 ※様式第2号の3の1を参照のこと
成績評価の基準・方法
（概要） ・シラバスに定める「成績評価の方法と基準」に基づき評価する。 ※様式第2号の3の3を参照のこと
卒業・進級の認定基準
（概要） ・必修科目、必修選択科目の成績評価において不可の評価の科目がないこと ・総欠課時限数が年間消化時限数の15%以内であること ・学納金の未納がないこと ※様式第2号の3の4を参照のこと
学修支援等
（概要） ・検定試験を学内で実施し、学修成果を確認することができる ・個別指導の実施

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
22人 (100%)	1人 (4.5%)	21人 (95.5%)	0人 (%)
（主な就職、業界等） 国際物流業界、接客サービス業			
（就職指導内容） 個別面談の実施、業界セミナーの開催			
（主な学修成果（資格・検定等）） TOEIC L&R、TOEIC Speaking、日商ビジネス英語検定2級			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
43人	2人	4.6%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制による状況把握、保護者との連携		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		専門課程	国際コミュニケーション科 コンシェルジュコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,860 単位時間	930 単位時間	270 単位時間	150 単位時間	510 単位時間	
			単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
60人/科	15人	0人	13人	28人	41人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) ・前年度末までにシラバスの作成を行うと共に年間授業予定表の作成も行う。 ※様式第2号の3の1を参照のこと
成績評価の基準・方法
(概要) ・シラバスに定める「成績評価の方法と基準」に基づき評価する。 ※様式第2号の3の3を参照のこと
卒業・進級の認定基準
(概要) ・必修科目、必修選択科目の成績評価において不可の評価の科目がないこと ・総欠課時限数が年間消化時限数の15%以内であること ・学納金の未納がないこと ※様式第2号の3の4を参照のこと
学修支援等
(概要) ・検定試験を学内で実施し、学修成果を確認することができる ・個別指導の実施

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
8人 (100%)	0人 (%)	8人 (100%)	0人 (%)
(主な就職、業界等) 接客サービス業			
(就職指導内容) 個別面談の実施、業界セミナーの開催			
(主な学修成果（資格・検定等）) ホスピタリティ検定、日本赤十字社救急法救急員			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
18人	0人	0.0%
(中途退学の主な理由) なし		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制による状況把握、保護者との連携		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		専門課程	観光・ホテルブライダル科 観光ビジネスコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,860 単位時間	930 単位時間	330 単位時間	210 単位時間	390 単位時間	
単位時間／単位							
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人／科		15人	0人	13人	25人	38人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
(概要) ・前年度末までにシラバスの作成を行うと共に年間授業予定表の作成も行う。 ※様式第2号の3の1を参照のこと

成績評価の基準・方法 (概要) ・シラバスに定める「成績評価の方法と基準」に基づき評価する。 ※様式第2号の3の3を参照のこと
卒業・進級の認定基準 (概要) ・必修科目、必修選択科目の成績評価において不可の評価の科目がないこと ・総欠課時限数が年間消化時限数の15%以内であること ・学納金の未納がないこと ※様式第2号の3の4を参照のこと
学修支援等 (概要) ・検定試験を学内で実施し、学修成果を確認することができる ・個別指導の実施

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
5人 (100%)	0人 (%)	5人 (100%)	0人 (%)
(主な就職、業界等) JR、旅行業界、販売、警備			
(就職指導内容) 個別面談の実施、業界セミナーの開催			
(主な学修成果(資格・検定等)) 国内旅行業務取扱管理者、海外地理検定4,3級、国内旅程管理主任者			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
12人	0人	0.0%
(中途退学の主な理由) なし		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制による状況把握、保護者との連携		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		専門課程	観光・ホテルブライダル科 ホテル・ブライダルコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,860 単位時間	630 単位時間	420 単位時間	150 単位時間	660 単位時間	
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人／科		76人	3人	13人	25人	38人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） ・前年度末までにシラバスの作成を行うと共に年間授業予定表の作成も行う。 ※様式第2号の3の1を参照のこと
成績評価の基準・方法
（概要） ・シラバスに定める「成績評価の方法と基準」に基づき評価する。 ※様式第2号の3の3を参照のこと
卒業・進級の認定基準
（概要） ・必修科目、必修選択科目の成績評価において不可の評価の科目がないこと ・総欠課時限数が年間消化時限数の15%以内であること ・学納金の未納がないこと ※様式第2号の3の4を参照のこと
学修支援等
（概要） ・検定試験を学内で実施し、学修成果を確認することができる ・個別指導の実施

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
34人 (100%)	0人 (%)	34人 (100%)	0人 (%)
(主な就職、業界等) ホテル・ブライダル業界			
(就職指導内容) 個別面談の実施、業界セミナーの開催			
(主な学修成果(資格・検定等)) レストランサービス技能検定3級、WBW ウエディングスペシャリスト、ホテルビジネス実務検定			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
73人	1人	1.6%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制による状況把握、保護者との連携		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		専門課程	国際交流科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2,430 単位時間	1,890 単位時間	540 単位時間			
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人／科		79人	77人	4人	22人	26人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） ・前年度末までにシラバスの作成を行うと共に年間授業予定表の作成も行う。 ※様式第2号の3の1を参照のこと
成績評価の基準・方法
（概要） ・シラバスに定める「成績評価の方法と基準」に基づき評価する。 ※様式第2号の3の3を参照のこと
卒業・進級の認定基準
（概要） ・必修科目、必修選択科目の成績評価において不可の評価の科目がないこと ・総欠課時限数が年間消化時限数の15%以内であること ・学納金の未納がないこと ※様式第2号の3の4を参照のこと
学修支援等
（概要） ・検定試験を学内で実施し、学修成果を確認することができる ・個別指導の実施

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
31人 (100%)	5人 (16.1%)	19人 (61.3%)	7人 (22.6%)

(主な就職、業界等) ホテル業界、通訳業
(就職指導内容) 個別面談の実施、業界セミナーの開催、履歴書指導
(主な学修成果(資格・検定等)) 日本語能力試験 N1、N2 TOEIC600 点以上
(備考) (任意記載事項) 日本語弁論大会(八戸開催) 1名選ばれ出場

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
85人	4人	4.7%
(中途退学の主な理由) 進路変更、帰国		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制による状況把握、個人面談の実施		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考(任意記載事項)
国際エアライン科	180,000円	890,000円	円	
観光・ホテルブライダル科	180,000円	890,000円	円	
国際コミュニケーション科	180,000円	890,000円	円	
国際交流科	150,000円	680,000円	円	
修学支援(任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.s-air.ac.jp/entrance/basic.html
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制)
学校関係者として、関係団体の関係者並びに航空、観光等関連分野の企業実務者と共に、学校関係者評価委員会を設置し年1回開催する。

学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
イー・エフ・エデュケーション・ファースト・ジャパン株式会社 代表取締役社長 サンチョリ・リー	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日 (1年)	企業等委員
矢崎部品株式会社 ものづくり事業統括室ものづくりセンター人財開発部人財企画チーム 小笠原 佑美	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日 (1年)	企業等委員
株式会社センチュリーアンドカンパニー業務推進部 副部長兼企画担当 林 浩昭	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日 (1年)	企業等委員
静鉄観光サービス株式会社 総務部総務課マネージャー 正田 恵造	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日 (1年)	企業等委員
株式会社ジェイアール東海ホテルズ ホテルアソシア静岡 総支配人室スーパーバイザー 渋谷 妙子	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日 (1年)	企業等委員
株式会社フジドリームエアラインズ 客室乗員部 部長 吉 英樹	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日 (1年)	企業等委員
株式会社ドリームスカイ名古屋 総務部 総務グループチーフ 鈴木 悠子	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日 (1年)	企業等委員
ANAエアポートサービス株式会社 業務部グローバル人財戦略課 主席 塩入 康夫	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日 (1年)	企業等委員
在校生保護者 一木 真紀子	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日 (1年)	在校生保護者
卒業生（同窓会会長） 塚本 裕作	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日 (1年)	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.s-air.ac.jp/entrance/basic.html		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.s-air.ac.jp/entrance/basic.html
--